
ネタ設定倉庫

零崎煌識

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ネタ設定倉庫

【Nコード】

N9280X

【作者名】

零崎煌識

【あらすじ】

考えた二次創作の設定たちです。設定だけで原作を知らないというものもあります。ISとかゼロ魔とかがそれに当てはまります。

否定的な感想は感想そのモノを否定します。ここに書いてある上から1〜10の設定は2、3話程書いてあるモノばかりです。もしかしたら何時の日か日の目を見る日があるようなないようなそんなモノばかりです。11以降は設定だけになると思います。

ネギまの設定1

名前：坂井遙^{はるか}

容姿：イメージはWORKING!の轟八千代^{ととむさしほ}てか見た目は轟八千代を男した感じ。子供の時は男の娘で、中学位になると男装麗人という雰囲気。

能力：

・道具製造能力・・・兎に角何でも造れる。造れないのは人間などの生物。ただし、生体兵器（戦闘機人など）は別。

・能力製造能力・・・考えるのがめんどかった為に選んだ能力。異常だろうが過負荷だろうがサーバントスキルだろうが何でも造れる。

・限界突破・・・兎に角限界が無い。魔力だろうが気だろうが妖力だろうが身体能力だろうが兎に角何でも鍛えれば鍛える程に際限無く強くなっていく。

・未元物質^{ダークマター}・・・この世に存在しない新しい物質（素粒子）を作り出す能力+この世に存在するありとあらゆる物質を作り出す能力。

・薄桜鬼・・・変若水^{おちみず}によって生身で人の身体能力を超えた存在になる。ただしこの力を乱用しすぎると直ぐに死に至る。遙は能力によってそのマイナス面を克服（？）した。また遙は既にこの力を使わずとも身体能力が化け物なのでこの力を使うと誰にも止めら

れなくなる。

武器：

・白銀^{シロガネ}、黒鐵^{クロガネ}・・・白銀は空間を斬る刀。鐵は重力を操る手甲。ぶつちやけアスラクラインの白銀、黒鐵の能力と同じ。この二つを使うと時空間制御が出来る様になる。上級者の使い方と並行世界などの別世界への移動も可能になる。

・零時迷子・改・・・道具制作の力を使いベルペオルと一緒に造った宝具。オリジナルと同じ性能に手を加えて尚且つ遙に存在の力などが吸収される解禁付き。

・宝具タルタロス・・・灼眼のシャナに出てくる物と同じ物。だが何気に手を加えてある。

・大劍^{フルトザオガ}・吸血鬼改・・・坂井悠二のをコピーし少し手を加えたモノ。オリジナルより高性能。

備考：

・前世では名前が女の子に間違われる事が度々あった。容姿はW ORKING!!の佐藤潤。

・杏子とつるむうちに何時のまにか杏子のお世話をするのが好きになっていた。

・本人はどうしてそうなったか知らないが、杏子がお世話のお礼に内緒で適当に幸運や金運を上げ、さらに神の加護を付けた。加護を適当に付けてしまい無詠唱でネギまの上級魔法が撃てるようにな

った。

・シャナの世界で狩人を吸収し、宝具などの鑑定が出来る様になった。

・魔力などのエネルギーが凄いいことになっている。

名前：白藤杏子（白いとうあんず）（偽名）

容姿：WORKING!!の白藤杏子

備考：

・遙を転生させた神様で、「人の身で食べ物を食べた方が食べた気がする」と理由で仕事を分霊（ちゃんと働く分本人より高性能）に後は任せ、遙の転生した世界に行き、体とか戸籍とかその他諸々を神様の力でつくった。

・やってることはWORKING!!の白藤杏子と同じ。ただ、何気に遙の手助けをしている。

・好き嫌いは無いが、シャナの世界にきて遙のつくる物が好物になっている。

名前：逆理の裁者ベルペオル

容姿：灼眼のシャナの原作通り

武器：

・宝具タルタロス・・・灼眼のシャナに出てくる物と同じ物。だが何気に手を加えてある。

備考：

・ふらりと地上に降りてきたときに、徒に喰われそうな遙に出会い、その想いに引つ張られつついつい徒を殺し遥を助けた。その際一目惚れをし、契約。

・隠してはいるが、遙にお世話されている杏子にただならぬライバル意識を燃やしている。

・遙のお世話をするのが大好き。

ネギまの設定2（前書き）

ネギま中心の色々な世界を渡り歩く二次創作の設定

ネギまの設定2

名前：タタラ・フォロン

容姿：神曲奏界ポリフォニカのタタラ・フォロン

身長：178cm

特典：

ダンティスト
・神曲楽士に必要な才能・・・これは生前から持っていたものをより強化したものだ。” 生前の才能＋無限に等しい伸びしろがある” みたいな感じ。生前の才能はフォロンと同じレベル。神様に強化されたことによりどんな音楽でも心を籠めて弾けば神曲になる。

ワルマン・オーケストラ
・単身楽団&mp; ホイールド・トランスワウヤマテオサケストラ
ワルマン・オーケストラ
ノ・・・単身楽団を各楽器で一種類とフォロンとレンバルトの2人の自走式可変単身楽団に加え、それを整備するための知識とか技術そして機材。

・始祖精霊・・・神様特性のコーティカルテ・アパ・ラグランジエスの様な精霊。力はオリジナルのコーティカルテより強く、奏世神並みで、羽根もそれに合せ八枚。力は制限をかかっているので、神曲を聞いても奏世神程の力は無い。物質化も力を流さなくても消滅せず、己の意思かその強度を超える攻撃で壊れる様になっている。イメージとしては某弓兵の剣製の剣製をもっと便利にした感じ。

制限を解き、神曲を使うことによって精霊を生み出す事が出来る。一度の制限解除で下級なら数百から数千体、中級は二体、上級は一体を創る事ができ、ネギまや風の聖痕に出てくる様な精霊を元にしておればもっと簡単に造る事が出来る。

・成長限界の無い不老・・・成長限界が無く、老いないそして死ににくい。

・方舟・・・色々な機材や本、武器を収納する場所。

・何でも出来る能力・・・これはめだかボックスの完成、NEE DLESSのゼロの能力、刀語の見稽古を足した能力で何でも出来る。そしてNEEDLESSのゼロの能力が元にあるのでPF・Zボジティブライドバック・ゼロジ・エンド EROも使用出来る。

名前：コーティカルテ・アパ・ラグランジエス

容姿：神曲奏界ポリフォニカのコーティカルテ・アパ・ラグラン

ジエス

身長：170cm

スリーサイズ：B95W55H89

能力

・始祖精霊としての力・・・ネギまや風の聖痕の各属性の精霊王より格と力が上で、神（彼女を創った神）より格と力が下。

・精霊奏造・・・契約楽士の神曲と封印された力を解放することによって、神曲奏界ポリフォニカに出てくる精霊を生み出す事が出来る。また、元から居る各属性の精霊を使えばもつと楽に精霊を奏造できる。またその場合、それによって奏造された精霊は元の属性も使える。

・変身能力・・・変身というより、見た目の年齢を変えられる。

ゼロ魔の設定1

名前：うちはセンカ

容姿：ISの織斑千冬似で左目が蒼い。

能力：

・万華鏡写輪眼・・・NARUTOの原作に出てきたの+オリジナルの狂華水月が使える。狂華水月の能力は、BLEACHの愛染惣右介の鏡花水月の効果+月島秀九郎の完現術、ブツク・オブ・ジ・エンドの効果を確認した人間にもたらず。というもの。万華鏡写輪眼は使えば使うほど能力が上がる仕様になっている。

・かなり丈夫で鍛えれば鍛えるほど強くなる体・・・刀語の七実のマイナス要素防止。効果は文字通り。

・見稽古・・・刀語の鑢七実の見稽古と効果は同じ。ただしON、OFFはできる。

・完成ジ・エンド・・・めだかボックスの黒神めだかジ・エンドの完成と同じ。

・全フラグメント・・・ニードレスの全てのフラグメントを使用できる。

・略奪と付与・・・第三者の能力などを奪ったり、自分の持つ能力などを第三者に与える能力。

・道具とかの知識・・・言い方が悪いのでわかりにくいですが、分か

りやすく言うと、仮面ライダーWのフィリップの星の本棚の強化版。

・ 神の倉庫・・・王の財宝の強化版で色々なものが入っていて、中身が無くなれば自然と補充される。飽くまで倉庫なので王の財宝の様に中身を撃ち出す事は出来ない。

備考：

・ 自身に六尾の尾獣を封印している。

・ 日向ヒナタを殺していて、その後は幻術などでそのことを隠している。

・ 左眼は神に頼みナルが白眼を埋め込む為に捨てた左眼と融合させた。それにより、x x x H O L I C の四月一日と百目鬼と同じ状態になった。

・ 刻まれたルーンは幾つかあり、その効果は、半不老不死、契約主の魔法適正の上昇、絶倫。

名前：うずまきナル

容姿：ナルトが原作のお色気の術で変化した姿と、ネギまのエヴアンジェリンが幻覚で成長した時の姿を足して2で割った感じ。目は左が蒼く、右は白。

能力

・魂蔵・・・結界師に出てくる蔵持ちと同じ。

・獣化・・・種類が二つあり、一つは半獣化、もう一つが完全獣化。半獣化の見た目は普通の状態に九尾の耳と尻尾が生えている状態で尻尾の数で力の出力などが変わってくる。

・白眼・・・能力は原作の白眼と同じ。

武器

・妖刀ヒナタ・・・ナルと九尾の血液と負の感情と日向ヒナタの魂と体でセンカによって創られた刀で、ヒナタの意思を持っている。斬れ味は斬刀・鈍に匹敵或いはそれをも凌ぎ、強度は絶刀・鉋をも凌ぐ程で飛雷針の術の術式が刻まれている。ナルとセンカしか使えない。たまにナルの体を使ったりする。

備考

・里の人間からの迫害により精神崩壊の一手手前の状態だったが、センカに依存することにより何とか自我を保っている。センカが死ぬと言えは死ぬし、センカが死ねば死ぬ程にセンカに依存している。

・自分と同じようにセンカが好きであるヒナタとは親友で、時々体を貸している。

・九尾とは和解し今では姉妹の様な関係を築いている。ちなみに九尾が姉で、ナルが妹。

・センカには戯言シリーズに出てくる闇口なみに服従している。

・白眼の方は眼帯で常に隠している。

・九尾と一緒に封印されていた四代目とクシナの魂と出会い、それぞれから、忍術などを学んだ。

名前：日向ヒナタ

備考：

・日向でイジメなどによって精神がボロボロな状態でセンカを好きになり、センカと関わっているうちに変な方向へと精神が歪み、ヤンデレを発症し始め、色々ありセンカに殺してもらった。そして己の肉体と魂、そしてナルと九尾の血とそれに籠められた負の感情を使い、センカによって妖刀ヒナタへと生まれ変わった。

・基本的性格は大人しいがセンカが関わると性格が壊れる。

・妖刀ヒナタのイメージとしてはデュラララの罪歌で、ソール・イーターの様に魂の共鳴的な事が出来る。

・時々ナルの体を借りてはセンカに奉仕をしたり、デートをしたりする。体を借りている時は自動で変化の術が発動し、ヒナタが大人になった姿になる。

・ナルの体を使っている時に刀を離してもナルの意識が戻るということは無い。感覚で言うなら一つの体に二つの魂が入っている状態。ナルの体は丈夫だし、力的にも大丈夫なので10年やそこらそ

の状態でも体に何の支障も無い。むしろ白眼の性能が上昇する。

- ・ヒナタがナルの体を使っている時は基本柔拳を使う。

名前：玖耀^{クヨウ}

備考

・うちはマダラによって操られていたが、センカによって治され正気に戻った。

・本人（本狐？）は知らないがセンカとナルにそれぞれ、異性と家族に向ける様な好意を向けるように瞳術をかけられている。

・九尾で名前が無かったがセンカによって玖耀と名付けられた。由来は、九尾の妖 九妖で九妖では安直だから文字を変えて、玖耀となった。

名前：イザベラ・ド・ガリア

備考：

・城の人間に無能姫と蔑まれていた鬱憤が爆発し、センカを召喚した。

・センカを召喚後、センカの御陰で陰口を言う奴が激減し、魔法も徐々に上手くなっていくため、精神的に安定し始め、精神力も増えた。

・何度かセンカの任務に着いて行って、センカの理不尽なまでの強さに恐怖とかを乗り越えて呆れ返ってしまった。

なのはの設定1

名前：祭場雑賀（転生前） 六道骸（転生後）

容姿：リボーンの六道骸の子供の時と同じ

能力

・六道輪廻・・・六道で習得した能力^{スキル}を使用する。右目の数字が変わると能力も変わる。なお、骸に憑依された人物も使用可能。

- 一、地獄道 相手に幻を見せ、永遠の悪夢により精神を破壊する。
- 二、餓鬼道 相手の技を奪い取る。
- 三、畜生道 相手を死に至らしめる生物の召喚。
- 四、修羅道 右眼から闘気^{オーラ}を出し格闘能力を上げる。
- 五、人間道 体から黒い闘気を出し、修羅道以上に格闘能力を上げる。最も危険で醜い能力。
- 六、天界道 相手をマインドコントロールし、意のままに操る。

・幻術・・・相手の脳に作用して幻覚を見せ、現実には起きていないことを起きていると思込込ませる術。

・雲を除く大空と大地の死ぬ気の炎・・・雲を除く大空と大地の死ぬ気の炎を使うことが出来る。

・六道骸の戦闘技術

道具

・霧、晴、嵐、大空、砂漠、森、山のリング・・・リングの種類は霧、晴、嵐のボンゴレリング、霧、晴、嵐のマーレリング、砂漠、森、山のシモンリングと各ランクの霧、晴、嵐のリング。

・霧、晴、嵐のボックス・・・ボックスの種類は霧、晴、嵐のボンゴレボックス、ミルフィオーレの霧、晴、嵐のボックスと幾つかの霧、晴、嵐のボックス。

・六道骸の三又の槍。

名前：月生美輝（転生前） 雲雀恭香（きよつか転生後）
容姿：リボーンの雲雀恭弥を女性化させ髪を伸ばした姿。

能力

・霧を除く大空と大地の死ぬ気の炎・・・霧を除く大空と大地の死ぬ気の炎を使うことが出来る。

・雲雀恭弥の戦闘技術

道具

・雲、雷、雨、大地、氷河、沼、川のリング・・リングの種類は霧、晴、嵐のボンゴリング、霧、晴、嵐のマーレリング、大地、氷河、沼、川のシモンリングと各ランクの雲、雷、雨のリング。

・雲、雷、雨のボックス・・ボックスの種類は雲、雷、雨のボンゴレボックス、ミルフィオーレの雲、雷、雨のボックスと幾つかの雲、雷、雨のボックス。

・雲雀恭弥の普通のトンファー

名前：柿崎千草かきひさき ちくさ

容姿：めだかボックスの箱庭学園、図書委員長、十二町矢文を子供にした感じ。

能力

・ 病毒遣い・・・戯言シリーズに出てくる呪い名第三位の奇野師団と同じように既知のものから未知のものまで、ありとあらゆる毒を身体に仕込んで使う。使い方は武器に塗ったり空気中にバラまいたりしてつかう。

備考

・ 骸に助けられたので骸に忠誠を誓っている。そのため骸の命令はどんなものだろうと遂行しようとする。

・ 毒に対する耐性が物凄く未知の毒や病気でも種類や強さによって時間は変わるが対抗を自分の体の中で作りだし死ぬことはない。また体内の中の毒や病気などを合せて新たな毒や病気を作ることができる。

名前：城澤一子じょうさわ いちこ

容姿：めだかボックスの箱庭学園、飼育委員長にして空手道部の部長、上無津呂杖をそのまま子供にした感じ。

能力

メタモルフォシス

・ 獣人変化・・・絶対可憐チルドレンの犬神初音と同じように、自らの体および身体能力を狼などに变身させる。動物の感情や言葉を理解する、嗅覚に酷似させた能力を用いて探査を行うなどの能力は、獣化していない平常時であってもある程度行使することができる。

備考

- ・ 骸に助けられ千草と同じように忠誠を誓っているが能力の関係で千草よりも深く忠誠を誓っている。
- ・ 能力の暴走などは骸の力で力が抑えられている

恋姫無双の設定5

名前：西東翔太さいとうしょうた（転生前） 神代詩歌（転生1回目） 曹仁子孝、

真名：詩歌（転生2回目）

容姿：転生前はフツメン。転生後はモノクローム・ファクターの劉黒。

身長：180？

体重：60？

ステータス

筋力：S（セルメダルの量で変動する）

耐久：S（セルメダルの量で変動する）

俊敏：S（セルメダルの量で変動する）

魔力：EX

気：EX

幸運：B

能力：

・平成仮面ライダーに出てくるアンデッドジョーカー、グリッド、ワーム、ファンガイア、フィリップの力と体。

アンデッドジョーカー、グリッド、ワーム、ファンガイア、フィリップの力と体を混ぜ合わせたモノで、神様によってマイナス面は

改善されており、さらに星の子の上位の存在になっており、次元世界、平行世界問わず全ての世界の全ての知識を閲覧できる様になった。

・ゾンビローンの紀多みちるのシンギュラリティの能力。
空間を捻り切る能力、死期の近い人間の首に現れる黒い輪を見ることが出来る「死神の目」などができる。

・道具製作能力。

製作方法とそれを造れるだけの技術があれば変身ベルトやガイアメモリ、完成形変体刀、各種魔法具など何でも製作でき、長い年月を掛ければ宝具レベルも製作可能。

・うみねこのなく頃にの無限の魔法と原初の魔法、反魂の魔法の3つの魔法の知識とそれが使えるようになる才能。
黄金の錬成、死者蘇生、無機物に意思（魂）を籠めるなどが出る。

・戦闘機人やプロジェクトFなどの知識。

・ディーグレの箱庭奏者の資格と箱庭。

ディーグレの箱庭奏者の資格によってノアの因子も所持しているが因子には箱庭を動かす鍵としての役割以外はない。

・ありとあらゆる魔法の才能。

ちゃんと練習すればネギま、なのは、屍姫、月姫などありとあらゆる魔法とそれに近いものを達人レベルまで使えるようになる。

・無限に増え続ける魔力や気と言ったエネルギー

武器：

・ライダーベルト

今の所（3話まで）は仮面ライダー剣、カブト、キバ、OOO、W、アクセルの5つ

・赤いバット

斬鉄剣

普通に作ったバットに一度書いたら絶対消えない特製マジックで斬鉄剣と書いた赤いバット。元ネタはXXXHOLICで、効果はXXXHOLIC第一巻のと同じ。

・完成形合成変体刀、斬艦刀

絶刀・鉋、斬刀・鈍、双刀・槌の3つの特性を合わせ持つ刀。見た目はスパロボOGの斬艦刀と同じ。

・完成形変体刀十二本

名前：オリヴィエ・ゼーゲブレヒト

容姿：聖王モードのヴィヴィオと同じ

身長：173.5?

体重??Kg

ステータス

筋力：S

耐久：A

俊敏：A A

魔力：E X

気：E X

幸運：B

能力：

・聖王の鎧

効果は原作とほぼ同じだが防御力が少し上昇している。

武器：

・籠手のデバイス（名前未定）

普段の待機状態は腕輪の形でセット・アップをすると聖王モードの
ヴィヴィオと同じになる。

名前：クラリス・G・S・イングヴァルト

容姿：変身魔法で成長したアインハルトと同じ

身長：172？

体重？？Kg

ステータス

筋力：S

耐久：A +

俊敏：A A -

魔力：E X

気：E X

幸運：B

武器：

・籠手のデバイス（名前未定）

普段の待機状態は腕輪の形でセット・アップをすると変身魔法で成長し、セット・アップしたアインハルトと同じ。

ロウきゅーぶ！の設定6

名前：長谷川 依波イナミ

貰った才能：

- ・黒子のバスケのキセキの世代
- ・火神大我 + 無冠の五将の才能
- ・金運。

備考：

- ・某英雄王程の金運は無い。
- ・転生した兄妹の兄で軽度のシスコン。
- ・生前は文武両道の人間だった。転生後もそれは変わらない。

名前：椎名 彩月シイナ サツキ

貰った才能：

・桃井さつきの情報収集能力

・黄瀬涼太の才能 + 黒子の才能（？）

備考：

・黒子のミスディレクション程消えない。

・転生した兄妹の妹で重度のブラコン。

・兄ほど優秀では無かったが欠点之余り無く、しかも人当たりも良いので男女共に人気があった。

ゼロ魔の設定2

名前：ユート・ド・ガリア

容姿：通常のガリア皇族の髪色や眼の色の青より濃い蒼色の髪と眼をしている。

能力：

・光渡し・・・対象の能力を増幅させたり、魔力を付与する能力。
・古神道鏡守術式封魔法・・・鏡に亜人や人間などを封印する能力。

・夜光院の力・・・完全空間座標知覚と時間座標把握の能力。簡単に説明すると相手の行動は読めるし、自らの行動は読めない能力。

・膨大なエネルギー・・・魔力や気といったエネルギーが通常の魔法使いなどより圧倒的に多い。

・使い魔的存在・・・おまもりひまりの緋鞠、静水久、リズリット、文の四人を使い魔に出来る。神様のアフターケアでそれぞれ強化済み。リズリットの本体のティーカップは絶対に壊れず、文は火や湿気、またシミ目の虫に強い仕様になっている。

・頑張れば全ての属性がスクエアに成れる才能。

・闇の魔法・・・ネギまの闇の魔法がほぼリスク無しで使える。

唯つのリスクは使えば使うほど人でなくなり、最終的には人より高位の存在になる事。最終的には不老不死的な存在になる。

備考：

- ・ユートが知らないだけでまだ隠された力がある。
- ・神様の好意(?)で、召喚せずとも緋鞠、静水久、リズリット、文とは原作の様な使い魔の契約が出来る。
- ・これまた神様の好意(?)で、使い魔を召喚すると白面金毛九尾の狐が召喚できる。ちなみに見た目はおまもりひまりのタマで、能力はありとあらゆる漫画やゲームなどに出てくる九尾の狐の使う力の全てが使える。

名前：クエス

容姿：銀髪にアメジストの瞳

スリーサイズは86(E)・56・85

能力：

・神宮寺の力・・・おまもりひまりの神宮寺くえすが使っていた魔法が使える。

・魔法などの知識・・・ゲーム、漫画問わず全ての魔法や魔術などが使える。

・無限に増え続けるエネルギー・・・魔力や気などが歳を重ねれば重ねる程に増加していく。

・契約の力・・・自分と誰か一人と主従の契約を結ぶ力。自分ではなく結ぶ相手側を主とした場合、死んでも解く事は出来ない。契約すると色々出来る様になるらしい。

備考

・トリスティンのヴァリエール公爵家に産まれたが、おまもりひまりのくえすの様に額に痣があったり、髪の色素が薄かったりしたために忌み子として幽閉されて過ごし、ある日隙をついて逃げ出し、色々あってユートに拾われ、前の名を捨てクエスと名乗り、ユートのメイド兼護衛として側にいる。

・契約の力をユートを主として使い、バトラに隷属を誓った。

・ユート限定のマゾ体質である。

・沸点がかなり低い。

・キレたり、テンションが高になると「デスDeath」と言う言葉を使う。

名前：緋鞠

スリーサイズ：88（F）・56・85

備考

・おまもりひまりの緋鞠と力以外同じで、力は潜在能力を含めこちらのほうが上。

・妖猫と白虎との合の子。

・武器はおまもりひまりの安綱と同じものを使っている。実はこの安綱は神様により魔改造済みである。

名前：静水久

スリーサイズ：60（AA）・45・72

備考

・おまもりひまりの静水久と力と血以外同じで、力は潜在能力を含めこちらの方が上。

・？と青龍の合の子。おまもりひまりの静水久と違い、青龍の血が流れている為に竜の眷属でもある。

名前：リズリット・L・チエルシー

スリーサイズ：91（G）・57・87

備考

・ おまもりひまりのリズリット・L・チエルシーと力以外同じで、力は潜在能力を含めこちらの方が上。

・ 本体であるティーカップは神様によって兎に角壊れない様に魔改造してある。壊すにはFateのギルガメッシュのエアの真名開放にネギまの近衛木乃香2人分の魔力を死にかけるほど込めて13発打てば砕けて壊れる。

名前：文

スリーサイズ：86（E）・57・85

備考

・ おまもりひまりの文と力以外同じで、力は潜在能力を含めこちらの方が上。

・ 腹の中には色々な神様からの贈り物の道具が入っている。入れれる容量としては王の財宝並みに入る。

・ 弱点である火や湿気、またシミ目の虫は苦手ではあるが、神様によって大丈夫な様に魔改造済み。燃やすには、オリジナルのレーヴァテインの真名開放をネギまの近衛木乃香4人分の魔力を死にかけるほど込めて撃てば燃やすことができる。

ゼロ魔の設定3

名前：ルルーシュ・ド・トリステイン

容姿：コードギアスのルルーシュの眼の色はそのままに髪の色をアンリエッタと同じにした容姿

能力

- ・鍛えれば鍛えるほど際限なく身体能力などが上昇する身体。
- ・ありとあらゆる才能。

・破棄ナンバーを含むセキレイ109羽とその葦牙になれる。(No.0はNo.1と同一存在でNo.0の身体は存在しない。男性型のセキレイは皆、女性化で109羽中に男性型は一体もない。)

・セキレイを調整する為に必要なもの全て。(セキレイの箱舟は王家所有の森の中にありセキレイと俺以外はオリ主の許可なく入れない。また必要なものの中には食料も入る。)

・俺自身に神器を入れる。(その事によって俺の意思一つでセキレイの停止ができ、また祝詞時の能力増大なども出来る。)

- ・世界の本棚。

備考

- ・城のメイドの大半は一日一回は必ずルルーシュの姿を見て目の保養をしている。
- ・美哉や鴉羽などの強いセキレイやヴァリエール婦人に鍛えられ身体能力や魔力などが凄いいことになっている。
- ・セキレイ全羽を羽化させて、全てのセキレイがルルーシュに好意を持っている。
- ・セキレイだけで構成された親衛隊、通称ヴァルキリー隊を所有している。

名前：エリザベス・シュヴァリエ・ド・ミッドフォード

容姿：黒執事のエリザベス・ミッドフォードそのまま。

能力

・黒執事のエリザベス・ミッドフォードなみの剣の技術とそれを超える才能。

・鍛えれば鍛えるほど際限なく上昇する身体と魔力。

・絶刀・鉋を超えるほど頑丈で、斬刀・鈍を超える程に切れ味が良く、持ち主（この場合はエリザベス）以外には扱えない二振りの剣。

- ・道具に概念を付与する力。

備考

- ・ミッドフォードは黒執事と同じく侯爵の位。またトリスティン王国の部隊隊長を代々実力で勤める程の人間を輩出する家系でヴァリエールとも親交があり、城ではミッドフォード家は公爵に次ぐほどの発言力を有していて、他の貴族からも一目置かれている。
- ・オークなどをほぼ剣術だけで討伐し、最年少で騎士の身分を授かった。
- ・考え事がたまに声に出る事があったがルルーシユの調教と言っ
たの教育によって改善された。
- ・黒執事のエリザベスとは違い力を知られているので、好きな人
の前ではずっと可愛い姿でいたいと思うことはない。
- ・セキレイだけで構成された親衛隊にはいる事を許された人間。

絶対可憐チルドレンの設定1

名前：明石 統夜^{とっや}

能力：

・とある魔術の禁書目録^{アケセラレイト}やとある科学の超電磁砲^{ダークマター}に出てくる超能力^{マルチタウナー}の種類は一方通行、未元物質、超電磁砲^{レールガン}、心理定規^{メジャーハート}、原子崩しの4つ。

・二つ目、めだかボックスの異常や過負荷、悪平等^{ノットイコーズ}などのスキル

備考：

・生前の行いが因果を狂わせたのでそれを修復するために神によって殺された人間。

・お世話のされすぎで、若干引きこもりのニート街道に足を踏み入れ始めた。

名前：黒曜 凧

能力：

・六道輪廻・・・リボーンの六道骸の力と同じ。

備考：

・よくあるパターンの転生者。ただし本人は転生するつもりは無かった。

・色々あり統夜のチームになる。

・統夜に惚れて、献身的にお世話をする様になる。

・従者スキルが異様に高い。

ネギまの設定3 (前書き)

一時期投稿した二次創作の設定。

何か18禁ものにしてしようと頑張っていきまいった。

ネギまの設定3

名前：近衛想夜、このえそらや 偽名：四楓院想夜しほついでんそらや

身長：140？ 原作開始時：181？

体重：35？ 原作開始時：53？

容姿：原作開始時点で、BLEACHの四楓院夜一が男になった感じ。（決して男の娘ではない）

ステータス

筋力：AA（SSS） 虚化した時

耐久：S（SSS+） 虚化した時。

俊敏：AA（SSS） 括弧は瞬歩などの歩法を使用した時。

魔力：s -（EX -）

気：S -（EX -）

霊力：S -（EX -）

幸運：A -

能力

・BLEACHに出てくる死神、破面関係なく全斬魄刀。
BLEACHに出てくる死神、破面関係なく全斬魄刀を使える。
普段は魔法球の何処かにある倉庫にあり、想夜が念じれば手元に来る。

・斬拳走鬼の知識。

BLEACHの斬拳走鬼の知識。この知識の中にはBLEACHのキャラが独自に作った技や改造した鬼道も入る。

・魔力は木乃香の3倍、気はラカンの3倍、魔力と気とは別の力として霊力を魔力の総量と同じ

原作開始時点で、改造限定霊印をしてこの初期の状態で、限定解除をするともはや人が保有して良い量を余裕で越している。

・身体能力などを修行すればするほど際限無く上昇する体。
体を鍛えても鍛えても限界がない。魔力、気、霊力の3つの力も普通にしているも際限なく上昇する。

・武器などの道具製作能力。
クインシー 滅却師の道具や、しゅんしゅんりっか 盾舜六花、ぎがい 義骸、ほうぎょく 崩玉、完成系変体刀などが作れる知識と製作する技術。

・召喚能力

前の世界で関係を持った女性死神と、うみねこのなく頃にの煉獄の七姉妹を召喚する能力。

死神の召喚：前の世界で妻になったりした女性死神を召喚する能力。

煉獄の七姉妹の召喚：うみねこのなく頃に出てくる煉獄の七姉妹を召喚し使役する能力。召喚される七姉妹の能力や強さはうみね

このなく頃により強く、後はネギまの魔法がとかが使えるだけ。

備考

BLEACHの世界では妻が何人もいて、その中には妹である夜一もいた。その結果、兄妹での近親相姦に抵抗はない。

斬拳走鬼のレベルは総隊長と同等以上。

BLEACHの世界では霸王という呼び名を持っていた。

限定霊印を改造し、魔力と気も制限できるようにした。限定霊印の数は普通は一つだが封じ込めてもどんどん霊力などの量が増加する為、複数の限定霊印を自分に施している。今の所は、百合、イェローサルタン、八重桜、ノコギリソウと四楓院家の家紋の全部で5つの限定霊印を施している。

基本の服装は死覇装と隊長羽織を模した特殊な着物。

召喚能力は神様に貰ったおまけの一つ。

偽名の四楓院想夜は前の世界での本名をそのまま使っているだけ。

斬魄刀の名前：銀千華^{ぎんせんか}

解号：染め上げよ

斬魄刀：鞘は灰色、柄は黒、鍔は六角形の形

始解の形状：刀

・始解の能力

一つ目、霊力などを籠めれば籠めるほど切れ味が上昇する。想夜^{コントロール}の意思で対象以外は切れないという事も出来るが結構難しい！。

二つ目、“舞い散れ、銀千華”と解号の様に言くと千本桜の様に刀身が無数の銀色の華になる。その花弁に触れると傷や異常（毒や

催眠など）が治る。ただし、想夜の敵や想夜に害を加える意思を持つ者の傷は治る所かさらに傷つけられる。

卍解名：不明

卍解の能力：不明

具象化時の容姿：リリカルなのはのリーンフォース？に着物を着せた感じ。

備考

他の斬魄刀違い、想夜の分身という存在から、銀千華という個としての存在に昇華し、想夜に対して恋愛感情みたいなモノを持つようになった。

想夜の身の回りの世話をしたい為に具象化している。前の世界でも具象化して想夜の身の回りの世話をしていたため、家事能力はかなり高いレベルを持っている。

煉獄の七姉妹 (Seven sisters of purgatory)・・・煉獄の七つの大罪を司る、ルシファー、レヴィアタン、サタン、ベルフェゴール、マモン、ベルゼブブ、アスモデウスの名前と能力を持つ七姉妹の事で、この七姉妹が存在する事により、本物の七大罪はネギまの世界の魔界から消え、本物の七大罪のいた地位にこの七姉妹が君臨している。

ルシファー・・・七姉妹の長女で「傲慢」を司る。七姉妹の中では最弱でそれがコンプレックスとして彼女を蝕んでいる。妹たちに対して傲慢に振る舞うことと、想夜に閨に呼ばれる回数が多さでかろうじて長姉としてのプライドを保っている。本当は屈服に悦を感じ

じていて、想夜の前だとそれが顕著に表れドMになる。力では姉妹中最弱であるが、頭脳と料理を含む家事能力の方は姉妹の中でもトップクラス。人間の時の名前は瑠音^{るおん}。

レヴィアタン・・・七姉妹の次女で「嫉妬」を司る。残忍な性格で他者をいたぶるのが好きだが、本当は泣き虫という側面もある。行動が遅く、何でも他の姉妹より一歩遅れてしまう。自分が嫉妬し続けた時間だけ自身の移動速度を速めることができ、その速さは音速を超える。レヴィアタンの特性を活かすため想夜はレヴィアタンを閨に呼ぶのは七姉妹中一番少ない。人間の時の名前は恋音^{れおん}。

サタン・・・七姉妹の三女で「憤怒」を司る。姉妹たちのまとめ役で、騒がしい姉妹たちを厳しく叱るため全員から恐れられている。逆に彼女を叱る者が姉妹には皆無なため、寂しさを感じている部分もある。人間の時の名前は玲音^{れおん}。

ベルフェゴール・・・七姉妹の四女で「怠惰」を司る。他者にかいがいしく尽くす少女だが、その目的は主人を自分に依存させることである。逆に自分に対して親切にされることには慣れていない。古風な言い回しを好み、魔の眷属としては律儀な性格。人間の時の名前は礼音^{れいのん}。

マモン・・・七姉妹の五女で「強欲」を司る。何でも欲しがる少女で、独り占めを好む。気に入った相手であり主人である想夜からの寵愛を独り占めにするために、想夜に尽くす努力を惜しまない側面もある。人間の時の名前は眞音^{まのん}。

ベルゼブブ・・・七姉妹の六女で「暴食」を司る。美食家にして大食家なので料理人としてのスキルも高い。また食費を稼ぐために書いた料理店の評価本を書いて多額の印税を稼いだ事がある。姉妹の

中では和ませ役である。人間の時の名前は鐘音^{へるね}。

アスモデウス・・・七姉妹の七女で「色欲」を司る。姉妹たちから一番可愛がられているが、その反面、一人前の大人になりたいとあせっている側面がある。色欲を司るだけあって耳年増で閨での技術の習得が早い。人間の時の名前は明日音^{あすね}。

なのはとネギまの設定1（前書き）

オリ主が数多の世界に転生後に転生する感じの二次創作の設定。

なのはとネギまの設定1

名前：アサクラ麻倉ハオ葉櫻

巫力：125万（転生初期） 1876万

魔力：AA（転生初期） SSS+

気：AA+（転生初期） SSS

能力：

・シャーマンキングのハオの知識と力

・五大精霊

・鍛えれば鍛える程に際限無く強くなる体と巫力

・力の継承・・・何度転生しても生前の力を使える。使える力に制限は無く、例え血筋的な能力だとしても使える。おまけで武器も一緒に付いてくる。

備考：

・ 神の力によって転生した人間。生前の名前も八才だった。

・ 色々な世界を転生して廻っている。転生先は大抵、強い力を持つ人間などの寿命がある生物。

・ 幾ら転生しても八才と言う名前は固定されている。

・ 回数が二桁を越えるほど何度も転生を繰り返し、巫力がエライ事になっている。分かりやすく言うと、五大精霊を顕現させ、尚且つ2、3回程造り治せる程ある。

・ 魔力と気も持ち越す為、巫力程では無いが増大している。

・ ある辺りからリミッターを転生するたびに一つか二つ増やしている。ただ抑えているだけでは折角のエネルギーが勿体ないと思い、ネギまに出てくる様な魔法球を思いついた世界の最高の素材をふんだんに使い、世界が変わる事に耐久性や性能の良い素材に変えるなどして強化して造り、その魔法球に抑えているエネルギーを行くようにリミッターを改造した。

そしてその魔法球に転生した世界の生物などを放り込み続けて膨大なエネルギーを流し込み続けた結果、通常ではありえない変化をお越し、ネギまの魔法世界をも超える一つの世界として確立した。

・ネギまの”闇の魔法”マギア・エレベアを参考に造った”光の魔法”マギア・ルキスや、闇の魔法の発展系の魔法”闇の秘奥”、光の魔法の発展系”光の秘奥”、咸卦法を元に造った魔法、”混沌の魔法”マギア・カオスなどを造った。

・光の魔法マギア・ルキス・・・闇の魔法がマイナス方向に引つ張られるモノなら、この魔法はプラス方向に引つ張られる魔法で、闇の魔法を使うと魔性が上がるのに対して、こちらは神性が上がる。ただしコチラも闇の魔法と同じで術者を蝕んで行く危険な魔法。この魔法は闇の魔法の様に取り込んだ属性の魔法の威力があがる。そして闇の魔法とは違い、破魔の効果が自然に付与される。

・闇の秘奥・・・光を除く属性を取り込み、攻撃の全てが善悪や不利有利、聖邪関係無く全てを消滅させる魔法。スターライトレイカー某白い魔王のSLBを片手を横に一閃するだけで消してしまえる程の力。

・光の秘奥・・・闇を除く属性を取り込み、攻撃の全てが善悪や不利有利、聖邪関係無く全てを浄化する魔法。スターライトレイカー某白い魔王のSLBを片手を横に一閃するだけで消してしまえる程の力。

・混沌の魔法マギア・カオス・・・反属性の魔法を片手ずつに取り込み爆発的な力を生み出す魔法。高レベルの魔力制御を必要とし失敗すると高確率で死亡する。中級レベルの魔法で成功すると咸卦法以上の力を手に入れることができる。

魚の惑星の物語（前書き）

S T A R D R I V E R 輝きのタクトの気多の巫女のお話をのせて
みました

魚の惑星の物語

少年は恋をした。

そう浜辺で出逢った少女に、少年は燃えるような恋をした。

そこはサカナの惑星。

少年は腕の良い漁師だった。

少年サムは出逢った少女と二人、ボートに乗ってまばゆい銀河の世界に旅立つことを夢見た。

けれど、サムが恋したのはその少女だったのか、それとも銀河の世界だったのか。

サカナの惑星には銀河の世界へ行ける船が一隻だけあった。
その船は王様が持っていた。

ある日のこと、王様がお触れ書きを出した。

“イカ大王を倒して、その青い血を持ってきた者には、何でも望み
のものを与える”、と。

サカナの惑星には夜になると我が物顔で暴れまわるイカの大王がいた。

少年サムは、銀河の世界に旅立つ船を手に入れる為、イカ大王と戦
う決意をした。

”チャンスを逃すな！”少女はそう思った。

何としてもイカ大王を倒して銀河の世界に旅立てる船をもらうのだ！
そこでサムは手にした銃でイカを突き刺す訓練を始めた。

イカ大王と戦うその日に備えて。

「えいつ！えいつ！えーいつ！」

イカ刺しサムの名は程なく国中に広まった。

少女はそんなサムの帰りをいつも海辺の小屋で待っていた。

そして二人は、秘密を持った。

イカを食べたのだ。

サカナの惑星では、イカは悪魔の使い。

決して口にしてはいけないのに、二人は二人でイカを食べた。

けれど、秘密を共有した事で二人の絆は一層深まった。

“欲しいものがあるなら、躊躇うな！”少女はそう言った。

ついに、イカ大王の居場所が分かったけれど、そこは一年中激しい嵐による危険な大時化に

囲まれた海だから、さすがのイカ刺しサムもその船出をためらった。けれど躊躇うサムを少女は叱った。

イカ刺しサムは、少女を海辺の小屋に残し一人危険な海へと漕ぎ出した。

戦いが始まる。危険で暗い夜の海。サムは銚子を手は今戦いを挑む。

そして言葉では到底語りつくせない激しい格闘の末に、イカ大王を仕留めたサムは

ついにその青い血を手に入れた。

ビンに詰めたイカ大王の血は青く煌々と輝き、夜の海を照らし出す。

その青い血を携えてサムは王様に謁見する。

「王様、約束の青い血です！これがそうです！」

王様は歓喜に震えビンを手にとると、いきなりその青い血を飲みほした。

その青い血は不老不死の魔法にかけられた王様が永遠の人生を終わらせることのできる唯一の薬だったのだ。

「ありがとう、サム。これで今宵眠りに就けば私はもう二度と目覚めない。」

王様は王位を譲ると言った。

王様は最初から呪いを解く青い血を持ってきた者にその王位を譲るつもりだったのだ。

けれどサムはその申し出を断った。

「王様、僕はただあなたが持っているという銀河の船が欲しいだけなんです。

それに乗ってまばゆい銀河の世界に旅立ちたいのです。

だから王位なんていりません。国など欲しくはありません。」

すると王様は言った。

「よかるう、若者よ。望むものは何でも与える約束だ。違えるつもりもない。

あの銀河の船を譲ろう。だが若者よ。イカ刺しサムよ。心して聞かがいい。

あの船を動かすには、お前が恋する少女の血を一滴残らずそのエンジンに注がねばならぬ。

そう、恋する少女を殺さねばならぬ。そうしなければ動かない。さあ持つて行け。たった今からお前のものだ。」

サムは少女を殺した。

まばゆい銀河の世界に旅立つために少女の赤い血をエンジンに注いだ。

結局サムが恋したのは、少女ではなく銀河の世界への憧れだった。恋する少女は最初から憧れの旅路を飾る花でしかなかったのだ。

船はサムを乗せ、銀河の世界へと旅立つ。

けれどもすぐにサムは気づいた。あれほど憧れた銀河の世界。

だがそれらの星々は生まれ育ったあのサカナの惑星とどれほどの違いがあるのだろうか。

あのサカナの惑星も同じ銀河の星の一つ。

銀河は遠い世界ではなく、サムは最初からそのまばゆい世界に住んでいたのだ。

では何のためにサムは少女を殺したのか。

人生という冒険は続く。

ISの設定1

名前：新道 涯

容姿はギルティクラウンの恙神涯

能力：

・王の能力・・・ギルティクラウンの桜満集と同じ力

・恙神涯と同じ力・・・これは恙神涯のカリスマや知識などの全て。

・星の本棚・・・仮面ライダーWの星の本棚と同じ。但し制限などのマイナス面は無し。

備考：

・オリ主はISの世界に転生した人間で、年齢は17歳。幼いときにあつた白騎士事件で両親を失つた。それからの年月は自身の持つ力を駆使し、両親の会社を世界有数の会社へと発展させ、裏ではISによつて何らかの被害を受けた人間を纏め、ISありきな世界を変革させようと”葬儀社”アンチ・インフイニット・ストラトスという組織を設立し、そこで極秘裏に対IS用のIS、AISを開発し、それなどを使い違法研究所などを潰していた。勿論、某幽霊会社も抹殺対象。

ISの設定1（後書き）

世界は、常に選択を迫り。

そして、正解を選び続けた者のみが生き残る。

適正存在。

それが、この世界の理だ。

我々は淘汰される者に葬送の歌を送り続ける。
故に、”葬儀社”。

その名は、我々が常に送る側であること、
生き残り続ける存在であることを示す。

神話前夜（前書き）

S T A R
D R I V E R

輝きのタクトの神話前夜です。

神話前夜

エントロピープル

「やあ、少年。君がマルクだね。」

マルク

「そう、僕はマルクです。少年マルクです。けど、あなたは誰なんですか？その身なり、その髪の色、この辺りでは終ぞ見かけない姿だ。もしかしたら、夜になると大海原で暴れ回るといふ、あのイカ大王の化身だろうか。」

エントロピープル

「私は君に会いに来たの。」

マルク

「え？」

エントロピープル

「遙か遠いところからね。ねえ、マルク。君は今、恋をしてるだろう。彼女はクレイス。」

マルク

「彼女を知っているのですか？そして、見えるのですか？」

エントロピープル

「私には見える。だから、君に話したくてここまで来た。」

マルク

「話す？何を？」

エントロピープル

「もちろん彼女と、そして、この船の物語を。」

少女クレイスと青年コルムナの邂逅

日の光に輝く長い髪、クレイスは美しい少女だった。そして、数奇な定めの下に生まれた少女でもあった。何しろクレイスの姿は、普通の人には見えないのだ。そして触れることもできない。なんと絶望的なその境遇。けれどクレイスは、孤独ではなかった。何故なら コルムナと巡り会ったからだ。

クレイス

「あなたには、ここにいる私の姿が見えるのですか？」

コルムナ

「おかしなことを言う。君はそこにいる。だから僕には君が見える。この眼鏡の度はちゃんと合ってる。」

クレイス

「あなたには、普通の人たちにはない、特別な命のオーラがあるのですね。そのオーラの輝きが、私の姿を照らしている。どうか教えてください、あなたの名前を。」

コルムナ

「僕はコルムナ。青年コルムナ。」

クレイス

「私はクレイス。ひとりぼっちのクレイス。」

コルムナ

「普通の人には、君の姿は見えないのかい？」

クレイス

「ええ。私を見た男性は、多分あなたが初めてよ。」

コルムナ

「なら僕は、世界で一番幸せな男だ。だって、こんなにも可愛い君の笑顔が、僕だけのものなんだから。」

クレイス

「コルムナ……。」

コルムナ

「僕が見つけた。今日からクレイスは、僕のものだ！クレイス？」

クレイス

「ごめんなさい。私の体は雇気楼のようなもの。あなたの目に私の姿が見えるだけでも既に奇跡。でも触れ合うことはできないの。今日のことは忘れてください。もうあなたの前には、二度と現れませんから。」

コルムナ

「クレイス！待ってくれ、クレイス。たとえ触れ合うことができなかった、僕はもう、こうして君の笑顔に出会ってしまった。それなのに、その笑顔をもう二度と見ることができないなんて、そんな悲しいことは言わないで。これから迎える朝と夜には、君の笑顔を見たい。それは許されないことなのかな。」

クレイス

「おお、コルムナ。あなたの言葉こそ、私を世界で一番幸せな女の子にする。神様、感謝します。きつと私は、今日、この日のために生まれてきたのですね。」

く 魔女アインと青年コルムナの邂逅く

アイン

「こんにちは。」

コルムナ

「こんにちは。これは驚いた。こんな大きな宝石は、見たことがない。」

アイン

「幸せそうだね、コルムナさん。」

コルムナ

「なぜ僕の名を？」

アイン

「街の酒場は、あんたの噂で持ちきりだよ。」

「あいつは居もしない夢の中の女と、一緒に暮らしてるって。」

コルムナ

「街の連中には、見えないだけです。言わせておけばいい。」

「酔っ払ったとき、つい余計なことを口走った僕がいけなかった。」

アイン

「さつき、あなたの家の前を通りかかったとき、挨拶させてもらっ
た。」

「清楚なセーラー服に、栗色の瞳。流れるような長い髪は、更に眩
しく輝いていた。」

コルムナ

「こいつは驚いた。クレイスの服装のことは、誰にも話してないの
に。」

「じゃあ、あなたにも彼女が見えたのか？」

「あなたも、命のオーラの輝きを持っているのか？」

アイン

「私が持っているのは、オーラの輝きなんかじゃない。魔法の眼だ
よ。」

コルムナ

「魔法の眼？それじゃああなた、魔女なのか。」

アイン

「おや、お兄さん。物騒なものを持っているじゃないか。」

コルムナ

「男は、誰でも一本のナイフを持っている！」

アイン

「見るだけで触れることができない恋人なんて、寂しいねえ。」

コルムナ

「僕は、彼女の笑顔を見るだけで幸せだ。」

アイン
「彼女の髪は本当に綺麗だ。」

コルムナ
「まさか、その指に巻いているのは、クレイスの髪。」
「いや、見間違えるものか。それは確かに、あのクレイスの髪。」

アイン
「私は北の海に住む魔女アイン。そして、この胸に輝くのは夜の寶石。」

「こいつを身につけていれば、クレイスの体に触れることができる。」
「あんたには、こいつの価値がわかるだろう？」
「これがあれば、クレイスの手を握ることも、体を抱きしめることも、そして、あの可憐な唇にキスすることもできる。」
「もし望むなら、あんたに譲ってもいい。もっとも、タダというわけにはいかないがね。」

コルムナ
「いや！いやいやいや！」
「体に触れることができる？それがどうした！」
「僕はただ、クレイスの笑顔を見ることさえできれば。」

アイン
「私も女だからよくわかる。クレイスはあんたに抱いてほしくて、ほんとは毎晩泣いてるんだよ。」

コルムナ
「貯金と、株と、国債と……あと、ビンテージもののジーンズコレクションをネットで売れば……。」

アイン

「この宝石の代価に私が欲しいものは、ただ一つ。」

「北の島の造船所に、一隻の船がある。その船を動かしてほしい。」

コルムナ

「船？」

アイン

「いいね。この宝石は、その船と交換だ。」

〈船を駆る青年コルムナ、魚の惑星の王へ〉

コルムナは船を動かした。なんとそれは、空を飛ぶ船だった。そして、自分が動かす船の力に酔いしれた。

コルムナ

「僕の望むとおりに、こいつは大空を自在に飛び回る。凄い力だ。」

「もう僕は、昨日までの僕とは違う！」

コルムナはその船で世界を飛び回った。だが魚の惑星は、空を飛ぶことをタブーとしていた。城の高い塔にいる女王。その女王の部屋に近づくのはタブーだった。だから空を飛ぶことは、トビウオですら許されなかった。

ネムル

「餌だ、餌だ！サメの餌だ！」

「この魚の惑星では、支配者は一番高いところになければならぬ。」

「私のいるこの高みは、この私だけのもの。」

「それを脅かす不屈き至極な輩は、全てサメの餌にしまえ！」

コルムナは持っていた短刀でネムルを刺した。

「うっ！うっ……！お前、お前は……。」

コルムナ

「僕は、この魚の惑星の新しい王だ。」

コルムナ

「そう。王が一番高いところになければならない。」

「つまり、一番高いところに行ける者こそが、王なのだ！」

エントロピープル

「そしてコルムナは、魚の惑星の王となった。」

マルク

「それで、クレイスは？彼女はどうなってしまったの？」

コルムナ

「ヒヤッホー！ハハハハハ！」

エントロピープル

「船に乗って、惑星を自由に飛び回るうちに、いつしかコルムナはクレイスへの想いを忘れていった。」

「あるいはもう、そのときには、クレイスの姿を見ることもできなくなっていたのかもしれない。」

マルク

「おい、コルムナ！君はそれでいいのか！」

「君の幸せそのものであるクレイスを見失って、君は一体どこへ行く！」

コルムナ

「今はこの船があればいい。この船があれば、世界の全てはもう僕のものだ！」

アイン

「それは困る。船は私がもらう約束だ。」

コルムナ

「これはもう僕の船だ！」

アイン

「僕の船？まだ気付いてないのか。もはやお前は、船そのものだ。」

コルムナ

「僕が船そのもの？僕が、船になったというのか。」

く 結末 魔女アインの殺害、そしてく

アイン

「コルムナ。さあ約束だ。」

「この船を引き渡してもらおうか！」

コルムナ

「現れたな、魔女。」

アイン

「こいつはこの星で一番大きな魔力を持った船なんだ。」

「私はこいつが動くのを7000年もの間待ち続けた！」

「残念ながらもうお前は私の魔法で動けない。」

「そうそう、この夜の宝石を渡す約束だったかねえ。」

「けれど、もうお前はクレイスはその手に抱きたいとは思っていないようだし、必要ないかな。」

「うっ！あいぐん……。」

アインは魔法をコルムナにかけた。

「どうして動ける？お前は、私の魔法で……！」

コルムナ

「この船がこの星で一番大きな魔力を持っていると言ったのは、お前だろう。」

「今、僕はその船と一体化している。お前よりも大きな魔力を持っている。」

「死ね、魔女め！」

アイン

「馬鹿だよ、お前は！この船の魔力を使ってしまっただけ。」

「いよいよお前は船と一体になる。それが愛する少女を捨てたお前の運命だ、コルムナ！」

「あいぐん……！」

船と一体化したことによる、不老不死になったコルムナ。コルムナはそれ以後も、魚の惑星の王であり続けたが、その王は城の奥深くに隠れて、人前には決して姿を見せなかったという。そして、コルムナの船は残っている。大きな魔力を持った船が。

エントロピープル1

「この船はもはや何者にも破壊すること叶わず。故に、封印しておくしかない。」

マルク

「クレイスの過去にそんなことが。でも、どうしてこの話を僕にしてくれたの？」

「もしかしたら、あなたも魔女？それともやはり、あのイカ大王の化身なのだろうか？」

エントロピープル1

「私たちはエントロピープル。魔力を使わない者。」

「君はかつてのコルムナのように、命のオーラの輝きを持った少年だ。」

「だから、このクレイスの姿も見えるのだろうか？」

「そして、この船を動かす力も持っている。」

「聞け、命のオーラの輝きを持つ少年よ。」

「私たちエントロピープルは、魔力を使わないと決めた銀河の一族だ。」

「巨大な魔力を持つこの船そのものの破壊、そして、船に偶然接触する命の、生殺与奪の権限などは、元より私たちにはない。」

「この船を君がどうするのか、私たちには見守ることしか許されない。」

「ただ、私は君にどうしても、せめて知っておいてほしかった。この船の物語を。」

「そして知りたい。同じようにこの船を動かせる君が、これからどうするのかを。」

エントロピープル2

「君も、コルムナのように、やはりナイフを持っているの？」

マルク

「もし僕に、命のオーラの輝きがあるなら、それは船を動かすためのものではなく、彼女の笑顔を見るためのもの。」

「たとえナイフを持っていたとしても、それは、彼女を守るためのものです。」

エントロピープル

「そうか。」

マルク

「約束するよクレイス。僕は、君が大切だと思っている全てのものを、何があっても守ってみせるよ。」

クレイス

「マルク。」

ISSの設定2

名前：天道てんどう 総覇そうは

容姿：STAR DRIVER 輝きのタクトのツナシ タクト

備考：

・ISSの世界に転生した人間で、よくあるハーレム願望などは持ち合わせておらず、取り敢えず普通に生活して、普通に結婚して、子供を育てて、ユツタリとした老後を過ごして死にたいと思うような人間。

・取り敢えず苗字が天道なので、仮面ライダーカブトの天道総司の言葉をリスペクトしている。勿論STAR DRIVER 輝きのタクトのキャラの言葉もリスペクトしたりする。

・ISSの世界に転生したハーレム願望を持つ他の転生者との戦いで、胸にタウのシルシと同じ傷を負っている。

・口癖は天に指を指して「おばあちゃんが言っていた。俺は天道の道を行き、総べてを制覇する男だと。」や、「やりたい事とやるべき事が一致する時、世界の声が聞こえる。」

ISS：銀河の巨人

能力：

STAR DRIVER 輝きのタクトのサイバディの能力を使うことができる。

備考：

・総覇がコアから武器までの全てを造った総覇オリジナルのISとして登録されている。

・装甲にはSTAR DRIVER 輝きのタクトのサイバデイに使われているオリハルコンが使われている。

・コアは全部で19機搭載されている。19機中18のコアの単一仕様能力はそれぞれのサイバデイの力である。そして残りの一つのコアは18機のコアの統括的な役割をしている。本来はザメクがこの役割を担う筈だったが封印しているためその変わりの統括役。そしてザメクが完全となった時のザメクの力を持つコアの補助の役割を持つコア。ザメクと統括のコア以外は分離し別のISとして組み直せる。しかしザメクと統括のコアからの支配から抜け出せない。

・第1フェイズは待機状態でも使う事が出来る。但し戦士のサイバデイに限られる。そして各サイバデイの姿に変わる事が出来る。

・ザメクの第1フェイズやザメクを使うには巫女のサイバデイの力を持つ四つのISを破壊する必要がある。

・四つの封印がなされている状態だと第1フェイズの特殊能力も弱い状態でしか使う事が出来ず、姿も変わる事は無いし、ザメクの第1フェイズは使う事が出来ない。一つ封印が解かれ、第2フェイズになると完全な第1フェイズが使う事が出来き、ISの姿が各サイバデイに似たモノに変身させる事が出来る。そしてザメクの第1フェイズが弱い状態だが使う事が出来る。二つ目の封印が解かれると、第3フェイズになるとザメクの第1フェイズが完全に使う事が出来る。三つ目の封印が解かれると、第4フェイズになると姿だけ

は完全なザメクになる事が出来る。この状態のザメクは本来の力を制限される形である。そして最後の封印を解くと、完全なザメクを使う事ができ、STAR DRIVER 輝きのタクトのサイバディをISサイズで召喚使役する事が出来る。そして、ゼロ時間という異空間を造り出す事ができ、その中で原寸サイズのサイバディになる事が出来る。

・スターソードはそれを使っていたサイバディ以外でも力は弱まるが使う事が出来る。

・IS、四方の巫女が全て壊されると、名前が王の柱キングザメクになる。

・操縦者になった人間はシルシが胸に刻まれる。その時少し痛みを伴う。

IS：四方よものみこの巫女

能力：

・IS、銀河の巨人の力を封印する能力。

・四つの巫女のサイバディの能力。

備考：

・四方の巫女は四つのISを一括りで呼んだ時の名前。それぞれのISにはそれぞれのISで使われるサイバディの名前が付いている。

・封印を特には四つを順番に破壊する必要があり、順番を間違え

ると破壊したISは操縦者事ゼロ時間に封印され、そのISを使い再生する。

・操縦者になった人間はシルシが胸に刻まれる。その時少し痛みを伴う。

名前：織斑 千冬

備考：

・原作ほどブラコンでは無い。総覇に恋心を抱いている。

・原作とは違い、暮桜とは別にもう一体のISを所持している。

・もう一体のISは総覇の造った巫女のサイバディの力を持つISの一つ”ワウナ”

・皆水みなみの巫女のシルシ”ウァウ”を胸に刻まれている。

名前：篠ノ之 束

備考：

・原作通り、ISを開発した人間。

・総覇に惚れている。

・総覇の造った巫女のサイバディの力を持つISの一つ”ケトナ”を所持している。

・胸にひが日^に死の巫女のシルシ”ケト”が刻まれている。

リボーンの設定1(前書き)

一部キャラがTS

リボーンの設定1

名前：沢田 吉奈よしな

性別：男

備考：

・一様全属性のリングが使える。その中でも大空が一番親和性が高い。

・名前の由来は家光が奈々の名前の一部を入れたいと思って付けた。

・容姿はツナのおどおどした感じをとって、代わりに雲雀の雰囲気を入れ、もう少し女っぽくした感じ。所謂、麗人。

・年齢は雲雀と同じ年。

・雲雀との仲は良好。

・その容姿と行動から、”並盛の女帝”と言われている。

・雲雀とは恋人同士。

・並盛中の生徒会長。生徒会を一人で運営している。人手がいる時は風紀の人間をあごで使う。

・並盛の人間には女だと思われる。でも女性から物凄くモテ

る。男性は大抵雲雀に潰されるか、盛大に振られるかの二択で余り近寄らない。

・武器は何でも使える。一番の武器はツナと同じクローブを使ったものだが、大抵は雲雀とお揃いのトンファー。

・中学入学と共に家に帰らず、雲雀の家にいるので、雲雀とは半同棲状態。奈々はこのことを認めている。

・白蘭よりも先にマーレリングに選ばれていたが、原作を変えなためにあえてマーレリングの所有を拒否、白蘭とツナの戦闘の一番良いところでマーレリングを受け入れ、マーレリング自らが白蘭の元から吉奈の元に移動。それにより、守護者のリングも雲以外は吉奈の手に渡った。雲のマーレリングは雲雀の元に行った。

・ボンゴレリングはリング争奪戦の後、偶々放置されていたボンゴレリングに近づいた時に継承を済ませ、もう一人のボンゴレリングの主になった。

・吉奈は誰よりも大空の属性に愛された存在で、本人が望めば、マーレ、ボンゴレ、アルコバレーノの大空のリングとおしゃぶりが吉奈の手元に行く。

・転生者なので、偶になんちゃってネタ技を使う。例えば、短刀みたいなのに雲の属性の炎を使い、ブリーチの神槍とか、イクス・バーナーの要領でかめはめ波みたいな事が出来る。

性別：女

備考：

・ 大体の設定は原作通り。大まかな違いは、性別が女性である事と、恋人がいる事。

・ 体型は所謂モデル体型で、胸がデカイ。普段はさらしで押さえ付けているが、吉奈と奈々、そして両親の前では普通にしている。

・ 原作通り並盛中の風紀委員長。ただし原作と違い、生徒会（吉奈限定）の言うことは大抵聞く。

・ 奈々の事をもう一人の母親として認めており、ドラマであるような嫁姑問題は無く、仲はかなり良好。

・ ツナに関しては吉奈の弟という認識で、原作の応接室の後からは吉奈の弟の草食動物という認識になった。

・ 吉奈に言い寄る男子はほぼ例外無く咬み殺している。ただし女子を咬み殺すのは吉奈に止められている。骸とは戦闘するものの吉奈が何時も止めるので両者引き分けの状態。

・ 吉奈限定のM体質でクーデレ要素も含むというハイスペックな女性。静かでない寝れないのに加え、吉奈が居ないと眠れない。

名前：六道 骸

性別：女

備考：

・能力などの大まかな設定は原作通りだが、性別は女で、好きな人がいる。

・体型はモデル体型。ただ胸は雲雀より小さい。骸も雲雀同様に男装している。

・ある時逃亡生活中に立ち寄った街（並盛）で沢田吉奈に出会い、色々あつて吉奈に惚れてしまった。その後、雲雀とも出会い、幼馴染として暫く生活していたが追つ手が迫り、吉奈と雲雀に別れを告げ二人の前から姿を消した。

・吉奈を想い過ぎる余り、DMに覚醒し、吉奈に与えられるモノなら何でも受け入れ、痛みや罵倒で（性的に）感じる様になった。

・黒曜を拠点にしている雲雀程では無いが色々やっている内に、何時の間にか一部からは”黒曜の支配者”とか呼ばれている。また一部からは”女帝よしひなの犬”と呼ばれていて、理由は吉奈に何か差し入れをしたり、吉奈の言うことを最優先にするから。

・凧を実の妹の様に可愛がっており、その凧と一緒に吉奈を誘惑すれば既成事実を作るのではとか、馬鹿な事を真面目に検討中で、凧も反対せずむしろ積極的に考えている。

名前：沢田 奈々

備考：

・設定はほぼ原作通り。ただこの設定上に置いては一番最強の人物かもしれない。

・雲雀と骸の事を実の娘の様に思っている。どちらが吉奈のお嫁さんになっても良いと思っっているがそれでは選ばれなかった方が可哀想だからと思い、最近では吉奈だけでも一夫多妻制の国に国籍を移そうか検討中。

・雲雀の制裁と骸の暴走を一声で止める事が出来る。

・本人は知らないが並盛の一部では”並盛の女神”と言う異名でその名を轟かせている。その御陰で商店街では結構割引とかおまけとかしてもらっている。黒曜においては、”黒曜の救済者”とか”女神様”とか呼ばれている。

残りのキャラクターはほぼ原作通り。

コードギアスの設定1（前書き）

世界。

コードギアスの設定1

名前：ルーシエ・リ・ブリタニア

性別：男

能力：

・イオリア・シュヘンベルグを超える才能・・・高軌道エレベーターやGNエンジンの設計などそう言ったモノを設計開発する能力や、必要な資金を集める為に必要な力。

・イノベーターとしての力・・・純粹種のイノベイト。ヴェーダにアクセスする力や、他人の脳量子波を読んだりする力。その他の事も出来る。神様が手を加えて、全てのイノベーターとイノベイトに干渉出来る様になっている。

・戦闘者として必要な力・・・戦闘技術などの各種技能。

備考：

・神様に転生させられた青年。コーネリアの弟でユーフェミアの兄として産まれる。

・神様に能力以外にヴェーダとGNドライブ数基とGNドライブに耐えられる機体（神様の魔改造済み）を貰った。

・コーネリアとは所謂男女の関係がある。その他にも第一皇女ギヴァネアともそういう関係にある。因みに側近の女のイノベイト達は全て手を出している。

機体：ガンダムエクシア・ナハト

ガンダムエクシアの塗装を黒系統より塗装した機体。その色合いから夜を連想させるのでナハトとつけた。GNドライヴの他にも次元連結システムも搭載しており、それを使って他のエンジンやGNドライヴからエネルギーを供給できる。その他にも特殊な素材や機能が付いている。

武器はガンダムエクシアのモノと同じ。

名前：ラウラ・ボーデヴィツヒ

性別：女

能力：

- ・イノベイド・・・ヴェーダの生体端末としての力。
- ・ヴォーダン・オージエ・・・原作と違い完全なモノ。

・ISのラウラの力・・・ISのラウラを超える戦闘技能を有している。

備考：

・ヴェーダの生体端末として造られた。容姿は名前通りISのラウラ・ボーデヴィツヒと同じ。何故そうしたかという点、神様がISが何か最近人気だから。

・神にルーシエを裏切らないようにされている。それが無くても裏切るつもりは本人には一切ない。この処置は他のイノベイトにも当てはまる。

・適当なエリアの孤児という事になっている。

名前：ティエリア・アーデ

性別：女

能力：

・イノベイト・・・00の原作通り。

・00のティエリアの能力・・・その能力は00のティエリアを

大きく上回る。

備考：

・容姿は女装した時のティエリアと同じ。

・ヴェーダの生体端末。

・ブリタニア人の孤児となっている。

名前：アニュー・リターナー

性別：女

能力：

・イノベイト

・色々な技術・・・造船や、料理などの各種技能を持っている。

備考：

・アニュー・リターナーをベースに造られている。リヴァイブ・リヴァイバルの力（戦闘技術）も持っている。

・主な役割はルーシェの補佐。

・何処かのエリア人間とのハーフブリタニアの孤児となっている。

名前：リボンス・アルマーク

性別：女

能力：

・イノベイト

・00のリボンスと同じ力

備考：

・00のリボンスをTSさせた姿。

・何故かかなりのドM（ルーシェ限定）で、ルーシェに組み敷かれ、罵られるのが大好き。そして痴女というどうしようも無いイノベイト。でも能力は本物。

・変態だけどそれを知っているのは仲間内だけで、それ以外の人間は優秀な秘書官だという認識をされている。

名前：フェルト・グレイス

性別：女

能力：

・イノベイト

備考：

・フェルト・グレイスのデータを元に造られたイノベイト。本物のフェルト・グレイスと違い、元から髪の色はピンク。

・ルーシエの配下のイノベイトの中で一番戦闘能力が低い。だが事務関係の能力は高く、後方支援型として造られたイノベイト。

名前：織斑 千冬

性別：女

能力：

・イノベイト

・ISの織斑千冬と同等の力・・・剣術の技術などがISの織斑千冬と同等にある。ただイノベイトなのでISの千冬より力などが上。

備考：

- ・ISの織斑千冬をベースに造られている。
- ・ルーシエの配下のイノベイトの中で一番戦闘能力が高い。ナイト・オブ・ワンのビスマルクや枢木スザクを圧倒出来る程に強い。刀で色々斬っちゃたり出来るバグ仕様。
- ・日本人に4分の1程ブリタニアの血が入っているクォーターと言っことになっている。

WORKING!!の設定1

名前：轟 ちとせ 千歳

性別：男

備考：

・一度死んで転生した転生者。でも神様にあつたとか特殊な能力を貰ったとかそういうのは無い。普通に死んで（不治の病を患っていて、人を助けて代わりに死んだ）、気がついたら赤ん坊で転生した事を理解した。轟八千代の双子の兄妹として産まれた。

・八千代とは違い刀は携帯していないが、武器は携帯している。

・八千代と違い社交性があるので友達が多い。

・趣味は八千代と共に杏子の世話をすること。但し八千代ほど必要以上に甘やかさない。

・本人は気がついていないかわからないが、本当の意味で好きになる女性は一般的に”変な人”に分類される人間。取り敢えずで何回か彼女を作っている。

なのはの設定2

名前：七五三しめ 蓮夜れんや

性別：男

能力：

・ありとあらゆる才能・・・全ての事に対して一流になれる程度の才能がある。頑張れば超一流に成れる場合もある。

・超直感・・・リボンに出てくるものとほぼ同じ。戦闘に関しては経験を詰めば積むほどに直感的なモノが上がり、Fateの青セイバーみたいに未来予知レベルにまで発展させる事が出来る。

・限界突破・・・魔力だろうが身体能力だろうが全ての事に成長限界が無い。

・能力開発・・・好きな能力を造る事が出来る。但し、4つまでしか造れない。それ以上造る場合造った能力を一つ消さなければいけない。造った能力は、受け渡す能力があるなら他人に渡す事が出来る。但し、一人に付き2つまで。一様能力の所有限界を誤魔化す方法があり、”ニードレスのキリセカンドの能力”みたいな感じで造れば複数所有する事が出来るし、誰かに渡したのを”覚える能力”を造り覚えた場合も複数所持できる。

武器：

グレイヴ・オブ・マリア

・聖母の柩・・・能力はディーグレイマンに出てくるモノと一緒だが中に入っているものは、生前の蓮夜の死に別れた姉の死体を元に造られている。オリジナルのマリアとは違い、蓮夜のはちゃんと顔がわかる様になっている。

イノセンス

・神力の結晶・・・デバイスで、複数の姿（ディーグレに出てくる装備型と結晶型のモノ）に変わることが出来る。待機状態は小さなルービツクキューブ。

アヴァイス

・闇金色の書・・・ユニゾンデバイス。書と付いているのは初期段階の見た目が一冊の本みたいだから。二つの人格となるモノを入れる事により、二騎のユニゾンデバイスになる。この二つの人格は夜天の書のリインフォースと防衛プログラムの核に使われていたりインフォースの予備プログラム。二つとも人格データだけを取り出したのでバグの発生を気にする必要が無い。

転生先未定の設定 1

名前：奏架そうか 霞檻かおり

性別：男

能力：

- ・無限の可能性・・・全ての事に適正がある。
- ・限界突破・・・身体能力などに限界がない。
- ・加護・・・邪神や神様の加護がついている。加護の御陰で対魔力などが高い。

・青セイバーの能力・・・F a t e / S t a y N i g h t のセイバーの技術にスキル。身体能力はこれに含まれないし、直感も喧嘩ぐらいしかしたこと無いので本家のセイバーよりランクが低下する。

・衝動・・・最低でも週一か、一定のストレスなどが貯まると、破壊衝動と性衝動が発作的に起きる。この時の攻撃は最低でも通常の2倍近くある。ある程度は自身で抑えられるが、抑えすぎるととんでもないことが起きる。

装備：

・ナコト写本・・・デモンベインに出てくるエセルドレーダの本

体である最古の魔導書。このナコト写本は書かれたのち誰も所有者になつていない世界のモノである。つまり初めの契約者は霞檻である。このナコト写本は書かれている内容の後に幾らでも追加で記述する事ができる。そして、このナコト写本に普通記されていない筈の別の魔導書の記述も記されている為、デモンベイン系の魔術はあらかた使える。

・エクスカリバー 約束された勝利の剣・・・皆さんご存知のエクスカリバー。改造が施されて破邪の効果が追加されている。

使い魔：

・セイバー・・・Fate Extraの赤セイバーこと、帝政ローマの第5代皇帝にして、生涯を謀略と毒とに彩られた悪名高き暴君、ネロ・クラウディウス。

・キャスター・・・Fate Extraのキャス狐こと、日本三大化生の一人にして白面金毛九尾の狐が化けた存在と言われる女官、玉藻の前。

備考：

・生前、未成年でありながら良く知り合い（成人）達と愚痴を聴きながら居酒屋で飲んでいた。この知り合い達の正体はとある有名な邪神様や神様、天使とかどっかの会社の社長とかで、本人は全くその事を知らない。

・能力にある衝動は、異性を抱いて性処理したほうが簡単に終わ

る。

名前：ネロ・クラウディウス

クラス：セイバー

マスター：奏架そつが 霞檻かおり

備考：

・基本スキルと能力はFate Extraの赤セイバーと同じ。

・全体的にスキルのランクが上昇している。マイナススキルと思われるモノは消去されている。

94

名前：玉藻の前

クラス：キャスター

マスター：奏架そつが 霞檻かおり

備考：

・基本スキルと能力はFate Extraのキャス狐より上。

Fate Extraでは低下していたスキルなどが全て使用可能になっている。マイナススキルになるであろうものは消去されている。

る。

・このキヤス狐は、あらゆる物語（漫画なども含む）で出てくる白面金毛九尾の狐の力を使うことが出来る。

名前：メデューサ

クラス：ライダー

マスター：奏架そうが 霞檻かおり

備考：

・能力の全てがStaying Nightのライダーより上昇している。

転生先未定の設定1（後書き）

Fate Extraを買ってある程度プレイしたら、他の話し（投稿しているモノ）の中のどれかで、赤セイバーかキャス狐、又はステイナイトのライダーのどれかをマスター以外をこの設定の状態で出すつもり。

ISの設定3

名前：八才

能力：

・ 道具制作・・・ありとあらゆる物を造る事が出来る。造る物が生物でなければ何でも作ることが出来る。

・ 限界突破・・・ほぼ全ての限界を突破出来る。突破できないのは寿命。

備考：

・ 篠ノ之束と一緒にISを制作。束の造った467機のISコアとは別に8つのISを自作し、それを元に13つのオリジナルIS^{ネタ}を制作し、所持している。

・ 八才という名前は偽名。

・ 自作の全てのISには人口知能的なモノが組み込まれている。

機体名：白鵠^{ひゃくかく}

備考：

・見た目はシャーマンキングの麻倉葉の甲縛式O・Sひゃうしゅう白鵠うそのもの。

・近接格闘重視で造られた機体。その為、遠距離の攻撃は斬撃をとばすというものだけ。

ワンオフ・アビリティー
単一仕様能力：

・無むむみ無もつやくむ明亦無・・・能力は零落れいらく白夜びやくやと同じ。だがこちらの方が燃費が良い。

機体名：黒雛

備考：

・見た目はシャーマンキングの麻倉八才の黒雛そのもの。

ワンオフ・アビリティー
・単一仕様能力はあるがその能力はその能力が発現する様にプロ
グラムワンオフ・アビリティーされていた。その為純粋な単一仕様能力とは言いづらい。

ワンオフ・アビリティー
単一仕様能力：

スピリット・オブ・ファイア
・炎の精霊・・・炎を操る能力。

機体名：ニポポテクンペ

備考：

・見た目はシャーマンキングのホロホロのニポポテクンペそのもの。

・能力はミステリアス・レイディとほぼ同じだがミステリアス・レイディとは違いニポポテクンペは操っている水を氷にして攻撃する事ができる。

機体名：ジャガーマン

備考：

・見た目はシャーマンキングのチョコラブのジャガーマンと同じ。

・速さ重視で造られた機体。

ワンオフ・アビリティ
単一仕様能力：

・風詠・・・現存するハイパーセンサーより高性能な探知能力が付く。

機体名：マステマ・ドルキム
敵意の炎

備考：

・見た目はシャーマンキングのリゼルグ・ダイゼルのマステマ・ドルキームと同じ。

・ジャガーマンを抜いたISの中では1、2を争うほどの性能を誇るハイパーセンサーを搭載している。

ワンオフ・アビリティ

単一仕様能力：

・炎装・・・武器に炎を纏わせる能力。

・炎触・・・炎装によって炎を纏ったワイヤー式アンカーの事。

機体名：黄麒

備考：

・見た目はシャーマンキングの麻倉八才の黒雛のカラーリングや細部を変えたもの。

ワンオフ・アビリティ

・単一仕様能力はあるがその能力はその能力が発現する様にプログラムされていた。その為純粋な単一仕様能力とは言いづらい。ワンオフ・アビリティ

ワンオフ・アビリティ

単一仕様能力：

スピリット・オブ・サンダー

・雷の精霊・・・電気を操る能力。近いイメージはゼオライマー

は雷のオムザック

機体名：翡虎

備考：

・見た目はシャーマンキングの麻倉八才の黒雛のカラーリング
や細部を変えたもの。

・単一仕様能力はあるがその能力はその能力が発現する様にプロ
グラムされていた。その為純粋な単一仕様能力とは言いづらい。
ワンオフ・アビリティ

単一仕様能力：
ワンオフ・アビリティ

・風の精霊・・・風を操る能力。イメージはゼオライマーの風の
ランスターと同じことが出来る。
スピリット・オブ・ウィンド

機体名：総天

備考：

・見た目はシャーマンキングの麻倉八才の黒雛のカラーリング
や細部を変えたもの。

ワンオフ・アビリティ
・単一仕様能力はあるがその能力はその能力が発現する様にプログラムされていた。その為純粹な単一仕様能力ワンオフ・アビリティとは言いづらい。何より単一仕様能力でありながら複数ワンオフ・アビリティの能力がある。

・現存する全てのISを凌駕する機体。燃料の関係による可動制限が無く、半永久的に稼働し続けることが可能。

・上記の機体は総天を開発する為の謂わば試作機。

・4つのISコアを使用している。ガンダム00のツインドライブシステムを元に独自でカルテットドライブシステムを制作し、稼働時間の制限を無くすことに成功。

ワンオフ・アビリティ
単一仕様能力：

・五大精霊・・・炎、風、雷、水を操り、零落れいらくびやくち白夜と同じ事が出来る。

・エヴォリユーション・・・足りないや弱点を発見しだい付け足したり、克服する能力で、常に最強のISで有り続ける為の能力。
イメージはデビルガンダムの能力。

アエストゥス・ドムス・アウレア
・招き蕩う黄金劇場・・・全てのISを総天の支配下に置く能力。
能力の名前はF a t e / E X T R Aより引用した。

・?????・・・能力名の無い能力。八才の死亡後、八才の造った13機のISコアとISを全てのデータ消去と共に自壊させる能力。
この能力は八才の組んだプロクラム外の自然と出来た単一仕様能力ワンオフ・アビリティである。

恋姫無双の設定2

名前：（未定）

能力：

・ 人類最強と人類最終の力・・・戯言シリーズの人類最強こと哀川潤と人類最終こと想影真心並みの力。

・ 刀語の力・・・刀語の真庭忍軍の忍法や体術に始まり、虚刀流や全刀流、千刀流、見稽古など刀語に出てくる全ての力が使える。但し使うためには修行あるのみ。

・ 暗器術・・・めだかボックスの宗像形の暗器術が使える。

・ 黄金律・・・Fateのギルガメッシュのスキル。但しオリジナルに劣る。

備考：

・ 恋姫の世界に行くこと決まって、取り敢えず魔法やは迫害の対象になると思えばなかったが、それ以外で選んでいたら調子に乗りすぎて化け物チートになってしまった人間。

・ 主人公補正は無かったが人類最強の力を手に入れたことによつて主人公補正が付いた。

・めだかボックスの黒神めだかの乱神、改神、廃神、混神の四つのモードが使える。

クロスオーバー設定1（前書き）

喰霊とエヴァンゲリオンのクロスオーバー設定。結構前から考えていたもの。

エヴァの方は新世紀エヴァンゲリオン 学園墮天録を主軸の設定にするつもり。

喰霊は原作から数年後の設定。

タイトルは”エヴァンゲリオン学園喰天録”とするつもりです。ただ問題が一つあって、それは私が新世紀エヴァンゲリオン 学園墮天録を読んだことが殆ど無いのでいまいち世界観とか話の内容が掴みきれない事です。

クロスオーバー設定1

名前：諫山シンジ いんやま 旧姓：碓シンジ

武器：

・宝刀、獅子王・・・諫山家に伝わる宝刀。諫山黄泉亡き後、断絶した諫山家の家宝をシンジが継いだ。

・神器 エヴァ・・・銃型の武器。新世紀エヴァンゲリオン 学園墮天録のシンジの武器。

・管狐・・・飯綱紀之から初めてお勤めに着いて行った時に貰ったモノ。以後は獅子王を手にするまでは管狐を中心に訓練していた。

備考：

・母親の死後、父親に捨てられ、碓の本家にあずけられ、その後に繋がりのある諫山家にあずけられ、以降は黄泉と神楽に実の弟の様に接し育てられた。そして殺生石を埋め込まれ、黄泉が乱心した時には神楽と一緒に黄泉に止めを刺した。

・碓家は古からある名家で政治的に対魔師の家と繋がりがあり、その長い歴史上色々な対魔の家系の人間の血が入っている。なので当然のごとく諫山家の血も入っている。

・諫山の名を継いだのは黄泉の死後、丁度喰霊の原作時期。戸籍なども碓から諫山に変える程の徹底ぶり。

・黄泉の乱心後八つ当たりだが飯綱紀之を殴った。

・諫山の名を継ぐと同時に帝じちみかど京子と婚約している。

・この世界では原作の喰霊の最後と違い、九尾と白叡の一部を自身に封じ手いる。

・対魔の世界では”諫山黄泉の再来”とか”神童”と謂われる程の対魔師。その為、黄泉の様に乱心するのではと一部の人間から言われている。

名前：土宮神楽

備考：

・大体の設定は原作の喰霊と同じ。シンジを実弟の様に可愛がっている。式村剣輔とは恋人同士。黄泉に取り憑かれている。

名前：式村剣輔

備考：

・大体の設定は原作の喰霊と同じ。シンジを恋人の弟として可愛がっている。神楽の事でシンジに弄られることもしばしばある。

名前：諫山黄泉

備考：

・大体の設定は原作の喰霊と同じ。シンジを実弟の様に可愛がっていた。原作の最後の神楽に取り憑いた後はまた、弟の様に可愛がっている。どういうわけか、神楽とマイケル師匠作の位牌以外にもシンジにも取り憑く事が出来る。

名前：飯綱紀之

備考：

・大体の設定は原作の喰霊と同じ。シンジを恋人の弟として可愛がっている。剣輔に取り憑いている。どういうわけか、剣輔とマイケル師匠作の位牌以外にもシンジにも取り憑く事が出来る。

以後、エヴァのキャラや喰霊のキャラは大体原作通りの設定。どんな形でもナブーは絶対に出すつもり。

恋姫無双設定3

名前：曹仁子考、真名：奏華そうが

能力

・探知能力・・・月の出ている夜に限り、月光で生じる影を感知し動きを知ることができる。

・サーバントスキル・・・Fateのサーバントのスキルを一部だが使用できる。

・騎士ナイト・オブ・オーナーは徒手にて死せず（改）・・・オリジナルの騎士ナイト・オブ・オーナーは徒手にて死せずとは違い宝具になるわけではない。これだけなら悪改だが宝具には成らなくとも対象によって一般の武具程度から一点ものの武具になる。そして使い方が分からない武器でも一流手前ぐらいのレベルで扱えるようになる。

スキル：

・カリスマ・・・セイバーと同じくランクはB

・騎乗・・・ランクはB

・直感・・・ランクはA

・勇猛・・・ランクはA -

・黄金律・・・ランクはB 但しこれは抑えられているので抑え

が無ければランクA+

備考：

・曹操孟徳（華琳）の弟。華琳に溺愛されている。

・カリスマスキルを持っており、そのカリスマ性は華琳をも凌ぐ。曹家の中では華琳では無く奏華に家督を継がせるべきだと言つものも居るくらいのカリスマ性がある。

・擬似燕返しが使える。擬似なので全く同時に斬撃を繰り出すのではなく、ほぼ同時に斬撃を繰り出す技。修練次第では本物の燕返しの域に達する事もできる。

名前：司馬懿仲達、真名：白藍バイラン

備考：

・容姿、体型共にあまつきの白藍。

・水鏡の経営する私塾に通っていた。諸葛亮（朱里）と？統（雛里）、徐庶とは友人関係にある。その中でも徐庶とは仲が良い。

・徐庶と一緒に町に居る時、数名の暴漢に襲われている時に奏華に助けてもらい、奏華のカリスマ性に惹かれ、彼を王にしたいと考え彼に士官した。

・私塾時代は諸葛亮と？統からその体型から羨望の眼差しを受けていた。

・士官後、奏華に護身術を仕込まれ才能もそれなりにあったので、ある程度の賊ならまず遅れを取ることがないレベルまでになった。

名前：徐庶元直、真名：樹里じゅり

備考：

・容姿、体型共に夜桜四重奏のV・じゅり・F

・水鏡の経営する私塾に通っていた。諸葛亮（朱里）と？統（雛里）、司馬懿とは友人関係にある。その中でも司馬懿とは仲がよい。

・司馬懿と一緒に町に居る時、数名の暴漢に襲われている時に奏華に助けてもらい、奏華のカリスマ性に惹かれ、彼を王にしたいと考え彼に士官した。

・医学などにも精通している。

・私塾時代は諸葛亮と？統からその体型から羨望の眼差しを受けていた。

・士官後、奏華に護身術を仕込まれ才能もそれなりにあったので、ある程度の賊ならまず遅れを取ることがないレベルまでになった。

腕相撲なら許？や張飛などの怪力自慢の娘達にも勝てる程。

機巧少女は傷つかない設定1

名前：彩牙千歳さいが ちとせ

能力：

・空の境界の青崎橙子の技術と知識・・・空の境界の青崎橙子の技術と知識が使える。

・道具製作・・・普通の人形、自動人形、PSP、鍋、時計など本人が道具と認識するものは何でも作れる。

メイカー・ライブラリー
・製作知識・・・この世のありとあらゆる道具の製作方法が閲覧できる。

備考：

・機巧少女は傷つかないの世界に転生した人間。

・神様からサーバントの体の一部などを貰い、自身でFateに出てくるサーバントなどの禁忌人形を作製した。

名前：セイバー

アエストゥス・ドムス・アウレア
魔術回路：招き蕩う黄金劇場・・・能力はぶちやけEXTRAの
アエストゥス・ドムス・アウレア
招き蕩う黄金劇場と同じ。

備考：

・ 神様より提供されたネロ・クラウドイウスの遺体を使って造られた禁忌人形。

・ 容姿も性格も全てEXTRAの赤セイバーそのもの。

・ サーバントスキルも使用できる。

・ 千歳などの身内だけの時は千歳にセイバーでは無くネロと呼ばれる。

名前：キャスター

魔術回路：玉藻鎮石・・・EXTRAのキャス狐とは違い、割と色々な事が出来る。

備考：

・ 神様より提供された玉藻の前の遺体を使って造られた禁忌人形。

・ 容姿も性格も全てEXTRAのキャス狐そのもの。

・ サーバントスキルも使用できる。

・ 千歳などの身内だけの時は千歳にキャスターでは無く玉藻と呼

ばれる。他の奴らには基本キャス狐と呼ばれている。

名前：ライダー

魔術回路：大地の女神・・・stay nightのライダーの使っていた宝具を使える。

備考：

・神様より提供されたメドゥーサの遺体を使って造られた禁忌人形。

・容姿も性格も全てstay nightのライダーそのもの。

・サーバントスキルも使用できる。

・千歳などの身内だけの時は千歳にライダーでは無くメドゥーサと呼ばれる。

・何故かキュベレイは千歳には通じない。

名前：セラ

魔術回路：

備考：

・約束された子どもフロミニストチルドレンの特性を持つように造られたホムンクルスを

使って造られた禁忌人形。

・容姿も性格も全てstay nightのセラそのもの。

・戦闘用でなく家事や戦闘補助などをするために造られた後方支援型の禁忌人形。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9280x/>

ネタ設定倉庫

2011年11月27日23時58分発行